

バリ島～南タンゲラン 公演ツアー報告

■ 1日目（11月19日）

午前9時。出演者13名、本部スタッフの17名が関西国際空港に集合。午前11時00分発、ガルーダ・インドネシア航空でいざ、インドネシア・バリ島へ。所要時間約7時間20分。着いた～。基本は32度。暑いです。デンパサール空港では、近畿日本ツーリストのガイド（アルディカさん）がお出迎え。専用バスでラマダ・ビントアン・バリ・リゾート&スパへ。ガイドのアルディカさんは「アルちゃんといってください」ととても気さくな方。日本語もとても御上手で、ダジャレも上手でバスの中は笑いにつつまれました。ホテルに到着すると「記念！記念！」とアルちゃんに言われるままに記念撮影。チェックインし、夕食をとって、休む暇もなく20時30分からホテルのオープンテラスのようなところで1時間ほどレッスンしました。日本をたつ前はレッスン場がない、ということだったので、ホテルの部屋か外でするしかないか・・・などといったのですが、当日、アルちゃんがこの場所を使用できるよう、ホテルと交渉してくれました。感謝！！



近畿日本ツーリストの
永友さん



関西国際空港にて



ガイドのアルちゃん



ホテル前にて



20時30分～稽古

■ 2日目（11月20日）

ただいま朝5時30分。ランチボックスをアルちゃんからもらい、バスへ。これからバリ島の北部・シガラジャへむかいます。山を二つほどこえて、約2時間30分の旅です。今日はシガラジャにある**ガネシャー教育大学**での公演です。ガネシャー教育大学には日本語教育学科があります。日本語だけでなく、日本の歴史、文化などを勉強しているそうで、インドネシアは世界で2番目に日本語を話す人が多いそうです（1番は中国

だそうです)。大学につくとカデ先生が出迎えてくれました。公演場所である会場へ行くと、学生さんが作った横断幕、琴、ひすまなど日本情緒満載です。まずは舞台セッティング。そして10時～スタート。学生さんによるバリ伝統的な歓迎舞踊。そして日本語教育学科学科長の挨拶、秋山塾長の挨拶後、コーヒープレイク。お茶とお菓子をいただきました。名古屋のういろうのような弾力のあるお菓子。とてもおいしかったです。お茶でまったりし、日本語学生会の音楽の演奏を聞いてなごんでいると、「次は発起塾のミュージカルです」のアナウンス。「おいおい、まだ準備できてないよ～」とつっこみたい気持ちをおさえながら、急いで準備へ。今回の構成は、【オープニングのご挨拶⇒JKT48ダンスメドレー⇒武士の居合抜き⇒「あんたがたどこさ」⇒ダンスでGO「会いたかった」⇒「暑中お見舞いダンスメドレー」⇒忍者修業⇒花魁が舞う「日本の歌」⇒「シンデレラ」⇒群読「生きる」⇒おわかれの挨拶】です。オープニングから学生さんからの歓声があがり、JKT48ダンスメドレーでは、本物が来たか、のような大盛り上がりでした。公演後、教室で食事をいただき、バリ舞踊のレッスン。軟体じゃないとできない動きの数々に苦戦しました。身を持って、バリ舞踊の大変さと素晴らしさを知りました。最後に大学から教育の神様「ガネシャー」と学生さんたちが書いた日本語の感想をいただきました。帰り途中、お土産物売り場と金と銀細工が売っている工房にたちよっていただきました。ホテルへの到着は18時頃。一日、御疲れさまでした。



ガネシャー教育大学



司会者。浴衣は自分で着付けしたそうです



バリ舞踊を体験



日本の和菓子みたいでしょ



今日のシンデレラ



生徒さんたちと記念撮影



喜ぶ塾長



右端にだるまがいます



まん中がカデ先生

■3日目（11月21日）

今日の集合時間は15時30分。ゆっくりです。私と高石先生は12時まで爆睡しましたが、塾生さんは元気いっぱい。ホテルの隣にあるモールでショッピングなどを楽しんだそうです。今日はバリ島の中心地・デンパサールにあるサラスワティ外国語大学（STIVA）での公演です。日本語学科は夜間学部ということで、スタートは18時30分～。舞台のある素敵な講堂でした。ただ着替えるところがない！どうしょ～、という時に隠れスペース発見。扉をあけていただき、きれいに床掃除をしていただいた上に新聞紙をもってきていただきました。暗いので明かりがないかな～と相談すると明かりもつけてくれました。お世話していただいた竹村先生と学生さんにはいろいろ無理をいいました。申し訳ありません。そしてスタート。まずはバリ舞踊・・・のはずだったのにタイ舞踊がはじまらない！急ぎょ、バリ舞踊は発起塾の公演が終わった後にしていただきました。するとバリ舞踊後のジャパニーズ・ポップスのダンスで1人だけメイクの濃い学生さんが・・・。バリ舞踊⇒ダンスと兼任されていたようで、メイクを落とす暇がなかったんですね。申し訳ありません。で、公演です。今日ももりあがりました。学生さんは300人くらいいたようで、怒涛の歓声。ありがとうございます。ここではオープニングの挨拶とおわかれの挨拶はインドネシア語でやりました。スカイプでSTIVA2年生のアンタラくんにご指導を受けたのが、旅立つ4日前。頑張っただけじゃありません。いかに???? 通じたかどうかはわかりませんが、「40年後～」とか「50歳以上の～」というところでどよめきがあったので、通じてただけだと信じています！ここでもJKT48は大人気！塾生の一人が「アイドルになったみたい～～～」と叫びました。公演後には、生徒さんと一緒に「勇気100%」を合唱しました。



手ぬぐいをプレゼント



今日のシンデレラ
かつらは嫌だと拒否されました乙女です。



アンタラくん、ありがとう！



「勇気100%」を学生さんと合唱。バスの中で幾度も練習しました。

■ 4 日 目 （ 1 1 月 2 2 日 ）

今日は10時30分集合。TAT TWAM ASI（タットワマシ）へ。何らかの事情で親元にいられない子どもたちの施設で、小学生2年生から大学生の43名が暮らしています。TAT TWAM ASIとは「私はあなた、あなたは私」という意味だそうです。熟語でいうと「以心伝心」でしょうか。会場が狭いので、芝居中の着替えは外で。あらわな姿の塾生さんたち、それを木かげでみている現地の人達。のどかな～。今回は日本人会文化部所属の「やまゆりの会」との合同慰問となります。まずは日本人会会長の万亀子イスカンダールさんの挨拶がありました。またバリ日本総領事館柴田総領事夫人もいらっしゃっていました。さて公演開始。子どもたちはインドネシア人。もちろん日本語は通じません。「あんたがたどこさ」はわかるのか！と不安でしたが、急きょ、今回、ガイドとしてお願いしたSTIVA卒業生のムルタさんに、日本語のセリフをインドネシア語でいっていただくことに。無茶ぶりして申し訳ありません。そのおかげで、不安だった「あんたがたどこさ」も写真の通り。最後には日本語の歌を3曲歌ってくれました。歌の途中、ずっと無表情だった男の子が気になっていたのですが、終わった後、片づけを自ら手伝ってくれました。何となく、人間って、大人も子供も、誰かの役に立ちたい、と、生来、思っているんだな、と思いました。ありがとうございました。



タットワマシ



着替えは外です



あんたがたどこさ



かわいいシンデレラ



傷だらけのローラ



笑い、笑い。



大変お世話になった黒岩さん ムルタさん



高石先生と秋山先生の
結婚記念日をお祝い

■ 5日目 (11月23日)

今日は移動日。バリからジャカルタへ。ジャカルタはバリと違って、と・か・い～。今日からはハリソンさんがガイドとして付き添っていただけます。よろしくお願ひします。

■ 6日目 (11月24日)

今日は7時出発。専用バスで南タンゲラン市にあるひかり小学校へ。この小学校は南タンゲランの貧困地にある小学校です。一日平均収入 125 円の最貧困地域に、インドネシア教育振興会が中心になって日本からの支援で 3 教室の小学校が 4 年前に建設されました。この学校の運営を担当している Hasim 先生から話を聞くと、裕福な子どもも裕福でない子どもも平等に勉強の機会が与えられるように、裕福な子どもは学費を支払い、まあまあの子どもは牛やヤギの糞を堆肥にできるので、それを学校に納め、山羊や牛のない子供は、親が学校の掃除を 2 日間するそうです。色んな知恵で、子供達に教育を受けさせる機会を作るのは素晴らしい事だと思いました。公演は天気がよかったので、学校のテラス(?)でさせていただきました。公演がスタートすると、日本語が凄く上手な Hasim 先生が、即座に日本語をインドネシア語に訳し、若い先生に伝えてくれました。そしてその若い先生が子どもたちに話してくれるという素晴らしさ。すごい。今回は野外ということもあって、風船バレーをしました。すぐくもりあがり、公演後に先生たちに何がおもしろかったか聞くと「風船バレー」といってくれました。嬉しいような・・・複雑な気持ち。でも同じ空の下で笑える時間をもてたことは幸せに思います。公演後、出演者の 100 歳でお亡くなりになったお母様が作った編ぐるみをプレゼントさせていただきました。



袖はみんな協力



野外コンサート開始



子どもたちに衣裳をつけていただきました



JKT48 の人気すごし



今日のシンデレラは
小学校4年生



大人気の風船バレー

公演後、一旦、ホテルに戻ってから、16時30分に再出発、テラスコタモールの横にあるステージへ。ここ、南タンゲラン市は市として独立して6年目で、その独立記念を祝う、セレモニーの大舞台に出演しました。なのに・・・雨。雨。やまない雨。雨季に入り、塾生は雨に濡れながらの登場退場。着替えも雨に濡れた土の上です。ゴミビニールを敷いての着替え。しかし、会場は、本物のアイドルが来たみたいに、大盛り上がり！ジャカルタでは、通訳が居なかったので、ひかり小学校のHasim先生が、急遽かけつけてくれました。またインドネシア教育振興会のビリーさんとインタンさんもお手伝いしてくれました。特にインタンさんは、テント内で私と一緒に早替をサポートしてくれました。助かりました。イベントの若いスタッフさんも、階段の上り下りがシニアは大変だからサポートして欲しいとお願いしたら、5～6名体制でフォローしてくれましたし、観客席からも盛り上げてくれました。ありがとうございました。バリでも、ジャカルタでも、若い人がたくさん応援してくれました。平等に教育が受けられますように。インドネシアの神のお一人、ガネーシャは、教育の神様です。



雨の中。ありがとう。



緑



赤



青



そして・・・バックサス



左のテントが楽屋

ビリーさん

南タンゲラン観光局の方



インタンさん

Hasim 先生

■7日目（11月25日）

全公演が終わり、今日はフリータイム！ ジャカルタ観光ツアーにってきました。インドネシア国立博物館、港、独立記念塔を見学し、夕食をとって空港へ。搭乗口で待っていると23時25分発の飛行機が2時間遅れるとのこと！！！！結果は1時間待ちですみましたが、ね。そして無事日本に帰国しました。みんなお疲れだろうに最後まで、笑顔で頑張ってくれました。インドネシア公演参加の皆さま、ありがとうございました。



当初行く予定だった
ダニ族の前で



交通渋滞すごっ



独立記念塔の前で全員集合

今回は、全て一（イチ）でした。だってインドネシアに知り合いいないんですもん。それにはじめはバリ島とジャヤプラとヌメナ（ダニ族）に行く予定だったのに・・・急きょ2ヶ月前に変更（涙）。

ただそのおかげで、バリ日本人会の黒岩雅（くろいわみやび）さん、黒岩さんに紹介いただいたガネシャー教育大学のカデア Antalika 先生、サラスワティ外国語大学の竹村洋美先生、インドネシア語の発音を教えてくれたアンタラくん、ガイドとして公演のお手伝いをしてくれたムルタくんに出会うことができました。また、インドネシアをはじめとする東南アジア諸国の子どもの人権擁護、教育環境の整備、教育機会の充実などを目指して活動しているインドネシア教育振興会の代表・窪木教授には、お忙しい中、いろいろ無理を申しまして、ひかり小学校とテラコスタモールでの公演をとりついでいただきました。

ひかり小学校のHashim 先生、インドネシア教育振興会のインタンさん、ピリーさん、近畿日本ツーリストの永友さん、ガイドのアルディカさん、ハリソンさん、運転手さん、そしてそして、日本で応援してくれた塾生さん、今回の海外公演もたくさんの人に支えられ、無事に行うことができました。本当にありがとうございました。

来年も何処かへ笑顔を届けに行きたいと思います。

（文責：天空魔王。）